

「ドローン×インフラメンテナンス」連続セミナー 開催結果 (H30.5.10)

～第1回 ドローン関連政策・技術開発動向～

主催：インフラメンテナンス国民会議

- 小型無人航空機(ドローン等)によるインフラ点検・診断技術をテーマとして取り上げ、その試行・導入等を支援するための情報交換の場として、セミナーを開催した。
- 前半は、インフラの点検・診断にドローンを実用化するための政策の動向の紹介を行い、後半は、メンターを招き、橋梁点検におけるドローンの試行結果等の発表とともにメンターから意見や助言をいただいた。
- 最後に発表者と出席者との意見交換が盛況に行われ、発表者や出席者の今後の技術開発や企業連携に向けて有意義な情報交換の場となった。

開催概要

<プログラム>

(午前) 開会挨拶、①国の動向に関する話題提供、②基調講演1 インフラメンテナンスの必要性について、③基調講演2 ドローンの安全な運用に向けて、
(午後) メンター挨拶、④インフラメンテナンスを実現するドローンサービス基盤、⑤インフラ構造物へのアクセスを支援するドローン技術、⑥様々なドローン活用事例、閉会挨拶、
(プログラム終了後) 登壇者との名刺交換会

<参加者>

約260名

<会場>

JR品川イーストビル20F (株)日立製作所内 Hall

セミナーの狙い

- 他分野における活用状況の習得
 - ・インフラ分野以外におけるドローン開発、活用状況を学ぶ
- インフラメンテナンスでドローンが実用化・普及しない背景にある課題や改善策について
 - ・「点検で使うに至っていない」自治体と「点検で十分使える」と考える企業のギャップを共有する
 - ・十分に活用が進まない理由は、製品側にあるものとの立場に立ち、ギャップを埋めるためには、どのようなイノベーション、マッチングが必要か考える
- プレゼン企業等のさらなる技術開発の促進、ソリューションへの導き
 - ・プレゼン企業と他企業が協力をして、改善策の開発を促進する
 - ・自治体が活用したくなる、具体的なソリューションの提案へ導いていく



会場の様子



開会挨拶 鈴木学氏
(国交省総合政策局 事業総括調整官)



閉会挨拶 メンター代表 六郷恵哲氏



メンターの方々(左から)六郷恵哲氏(岐阜大学工学部社会基盤工学科 名誉教授)、齋藤修氏(茨城大学工学部ICTグローバル教育研究センター 副センター長・特命教授)、阿部雅人氏(㈱ピーエムシー 研究・開発部部長)、土橋浩氏(首都高速道路㈱ 保全・交通部長)



講演風景



名刺交換会の様子